NIE実践報告

1．タイトル：☆サミットで学ぶ

2．学校名

北海道札幌市立定山渓中学校

3．実践者名（代表者名）

安孫子　和典

4．学年

第１・２・３学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　地理７人　歴史７人　公民７人

6．単元（本時の学習課題）名

「世界の姿とさまざまな地域」（1年）　「現代の日本と世界」（2年）　「国際問題と地球市民」（3年）

7．目標(狙い)

1年:サミットに参加したG8の国々について調べ、サミットのねらいや意義について理解を深める。
2年:サミットの歴史を現代史とともに振り返り、サミットのテーマと社会情勢のかかわりについて考察を深める

8．評価の視点

1年:G8の国々の位置（日本、北米、欧州）や経済力に気づき、そこからサミットのねらいや意義を考えられたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

1年:「世界の姿とさまざまな地域」　8時間
2年:「現代の日本と世界」　7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

各学年1年間で取り組んだ

1年:サミットの新聞記事、各国首脳の写真を導入とし、世界地図、経済統計資料を用いて、G8の国の特色を考える。
2年:サミットの新聞記事、各国首脳の写真を導入とし、現代史年表（経済情勢含む）とサミットのテーマ一覧を用いて、社会情勢とサミットのテーマにかかわりを考察する。
3年:各国首脳の写真を導入とし、サミットにかかわる新聞記事からさまざまな論調を読み取り、サミットの役割と問題点をさぐり、これからのサミットのあり方について、自分の意見をまとめる。

（留意点）
・各学年ともサミットの授業を行うことをあらかじめ予告し、サミットについての新聞記事（校内のNIEコーナーに展示）に目を通しておくようにさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

1年:・サミットはなんのためにやるのかまったく知らなかったの、すごく勉強になりました。
　　・世界の悩みを話し合う大きな会があるのではとてもよい事だと思いました。
2年:・サミットの歴史が意外におもしろく、興味を持てました。来年のサミットはどうなるのか楽しみです。

12．成果と課題

同じ題材でも学年の発達に応じた課題設定をすれば、それぞれの段階で課題にせまることができた。新聞記事の使い方も、見出しや写真に注目する段階から、記事を読み比べて考察する段階までさまざまに試みることができた。